

かるがも便り 第25号

かるがもの利用状況	
登録者数	297名
利用者数	221名
令和7年 2月 27日現在	

※利用者数は、年度累計数



新しい年を迎えて、今年度も残り少なくなってきました。次年度に向けての準備が進み、楽しみな反面そわそわしたり不安になるお子さんもいるかと思えます。周りに流されず、今の時間を大切に過ごしたいですね。

年末からのインフルエンザの大流行から少し落ちついた頃に、感染性の胃腸炎や結膜炎など流行性の疾患が目立っていました。お熱は高くなくても、周囲に広がるのを防ぐために集団での生活は避けなければなりません。そんなときは、病児保育をぜひご利用ください。

高熱が続いていたり、食事や水分が採れないなどの時は、ご家庭で過ごす事をお勧めする場合がありますのでご理解をお願いします。

★新規登録者募集中★



☆☆病児保育室の様子☆☆

室内遊びが主な病児保育室ですが、みんなが大好きなままごと遊びは保育者も仲間入りして盛り上がる遊びの一つです。

保育者が子どもの頃は「お母さんごっこ」と言ったものですが(・・・いつから変わったのでしょうか)今は「お家ごっこ」と言っていますよね。自分ではない誰かになってお料理をしたり、赤ちゃんのお世話をしたり、保育者も張り切っていつもよりも高い声を出して、お母さん役やお医者さんの役など様々な役を演じています。まだ発語が少ないお子さんの場合は、コップとスプーンを手に、「スプーンでまぜまぜ、ごっくん、あまいねー」などの言葉がけでぱあっと笑顔になって真似して自分もやってみたり、ある年長クラスのお子さんの場合は、自分と保育者で役を決めて朝ごはんを食べるシーンから始まり学校や夕飯時、夜のお風呂の様子や、休みの日の旅行などの様子と展開していき、頭の中はフル回転で楽しんでいることが伺えました。年齢や発達によって遊びの様子は様々ですが、感じたり考えたり想像したりして脳を活発に働かせることがお子さんにとって大切なことだと思っています。

少人数や保育者と1対1の特殊な保育環境ではありますが、その環境を生かして時にはじっくりのんびりと遊ぶことに熱中できる時間にしていきたいです。

